

# 本県から6件を選出

## 17年度、東北発明表彰

2017年度の東北地方発明表彰受賞者が発表さ

れ、本県からは計6件が選ばれた。天童木工(天童市)の西塚直臣常務、滝口寿郎氏による「国産針葉樹による圧密成型家具製品」は最高賞に次ぐ中小企業庁長官賞に選ばれた。

西塚、滝口両氏の発明は従来技術に比較し、強度や接着剤の浸透性を向上させ、高品質のスギの圧密合板を効率的に大量生産できる点が評価された。従業員

の受賞により、天童木工の加藤昌宏社長には実施功績賞が贈られる。

地域協会長賞(山形県発明協会会長賞)には、「石炭灰利用による高品質再生骨材の製造方法」を考案した酒井鈴木工業(酒田市)の斎藤茂社長が、東北建材産業(仙台市)の鈴木孝志専務との連名で選ばれた。発明奨励賞には、「梅菓子とその製造方法」を考えた松野屋(東根市)の清野重美社長、「軒先用雪止め具」を開発した三和物産(山形市・中山町)の鈴木忠弘社

長と奥山諒子さんが選ばれた。

山形少年少女発明クラブ指導員の蜂谷俊男氏(山形市)は青少年の創造性開発育成に尽力したとして、奨励功労賞に選ばれた。

地方発明表彰は発明協会(東京)が全国を8ブロックに分け、優秀な発明をした人、発明の指導に貢献した人などを毎年顕彰。本年度の東北表彰には6県から計21件の応募があった。表彰式は今日16日、仙台市で行われる。